

令和7年度

大阪府小学生すくすくウォッチ
結果に関する参考資料

柏原市教育委員会

1. 目 的

こどもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査概要

(1) 調査日 令和7年4月16日(水)～4月24日(木)

(2) 対象学年 小学校 第5・6学年

(3) 調査内容

第5学年： 国語・算数・
理科・教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート
第6学年： 教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート
教員： アンケート

※アンケート調査はオンライン方式で実施。

《教科問題》

当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等

《教科横断型問題(わくわく問題)》 ※第5・6学年共通問題

特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等

《児童アンケート》

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等

※調査問題等の資料は、大阪府ホームページに掲載されています。

調査問題：

https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/sukusuku/r7_monndai.html

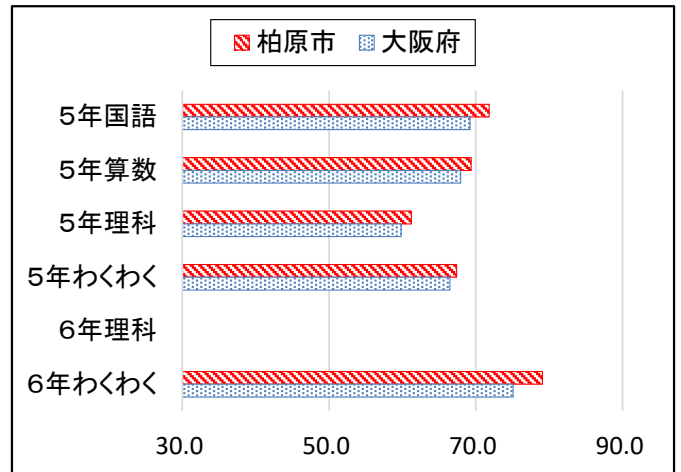
結果概要(大阪府教育庁)：

<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9078/r07sukusukukekkagaiyou.pdf>

各教科・教科横断型問題(わくわく問題)【平均正答率】

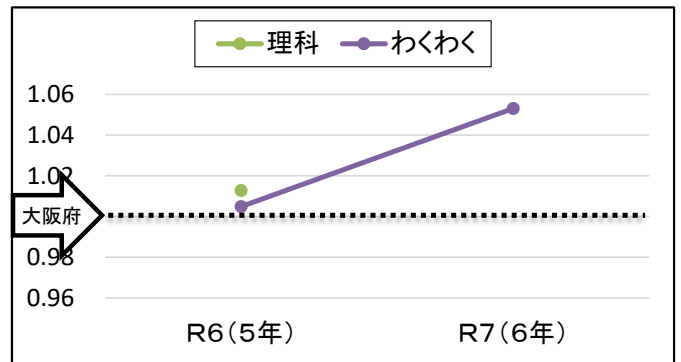
① 平均正答率(単位: %)

	柏原市	大阪府	対府比
5年国語	71.8	69.2	1.04
5年算数	69.4	67.9	1.02
5年理科	61.2	59.8	1.02
5年わくわく	67.4	66.5	1.01
6年理科			
6年わくわく	79.1	75.1	1.05



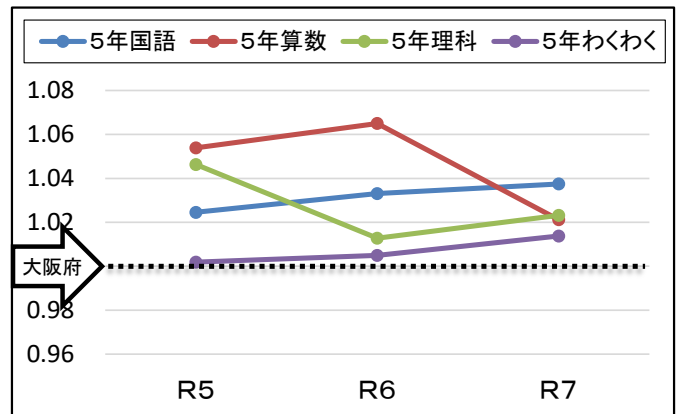
② 同一集団(現6年)の経年変化(対大阪府比)

	R6(5年)	R7(6年)
理科	1.01	
わくわく	1.00	1.05

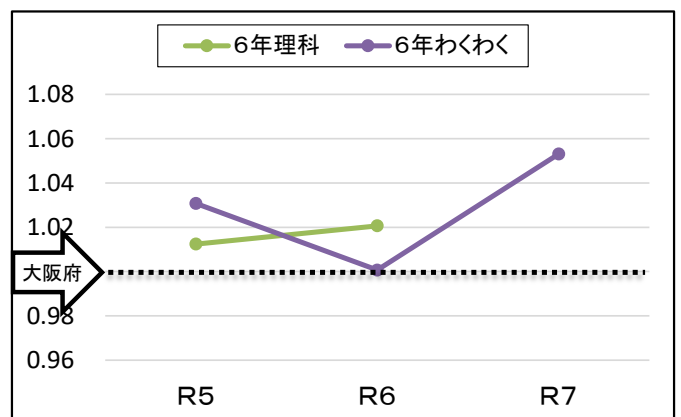


③ 同一学年での比較(対大阪府比)

	R5	R6	R7
5年国語	1.02	1.03	1.04
5年算数	1.05	1.06	1.02
5年理科	1.05	1.01	1.02
5年わくわく	1.00	1.00	1.01



	R5	R6	R7
6年理科	1.01	1.02	
6年わくわく	1.03	1.00	1.05



各教科【平均正答率(問題別概況)】

5年【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差
				柏原市	大阪府	(市-府)
全体			17	71.8	69.2	2.6
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	15	75.2	72.4	2.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	72.6	68.9	3.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	21.1	21.9	▲ 0.8
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	—	—	—	—
		B 書くこと	5	71.2	69.1	2.1
		C 読むこと	—	—	—	—
評価の観点		知識・技能	17	71.8	69.2	2.6
		思考・判断・表現	5	71.2	69.1	2.1
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式		選択式	8	68.5	65.9	2.7
		短答式	9	74.8	72.2	2.5
		記述式	—	—	—	—

5年【算数】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
		全体	6	柏原市 69.4	大阪府 67.9	1.4
学習指導要領の領域	数と計算		1	67.9	72.1	▲ 4.3
	図形		3	75.4	75.6	▲ 0.2
	測定／変化と関係		1	58.1	54.8	3.3
	データの活用		2	66.0	63.0	2.9
評価の観点	知識・技能		3	66.6	66.1	0.5
	思考・判断・表現		3	72.1	69.8	2.3
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		2	71.2	68.4	2.8
	短答式		2	73.0	72.9	0.1
	記述式		2	63.9	62.5	1.5

5年【理科】

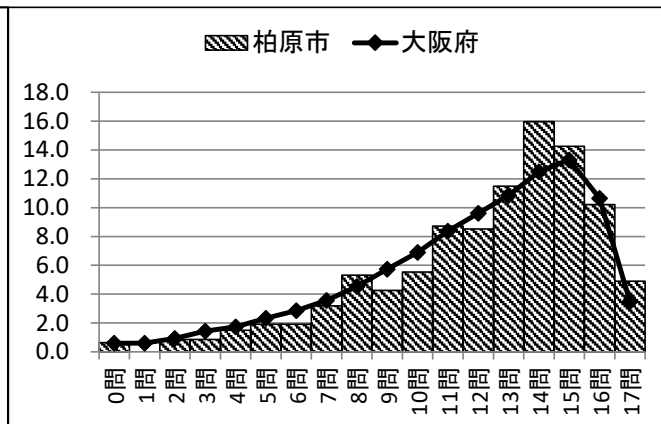
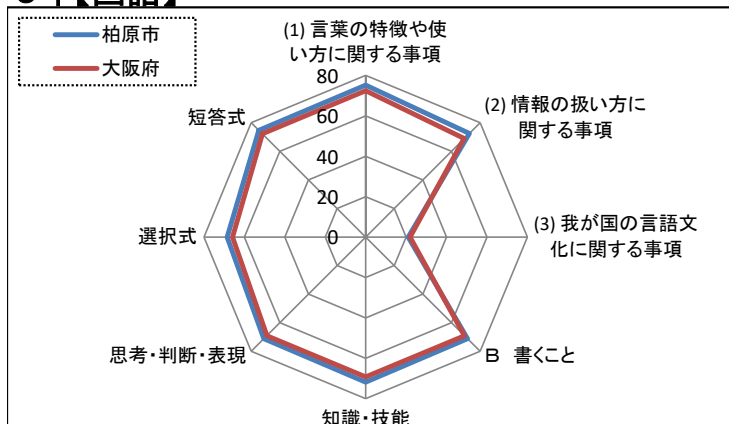
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
		全体	12	柏原市 61.2	大阪府 59.8	1.4
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域		2	57.6	56.8	0.7
	「粒子」を柱とする領域		4	72.2	70.1	2.1
	「生命」を柱とする領域		1	75.5	69.2	6.3
	「地球」を柱とする領域		5	51.0	51.0	0.1
評価の観点	知識・技能		6	65.7	62.1	3.6
	思考・判断・表現		6	56.8	57.6	▲ 0.8
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		7	61.2	61.0	0.2
	短答式		3	70.5	65.1	5.3
	記述式		2	47.3	47.9	▲ 0.6

6年【理科】…令和7年度実施なし

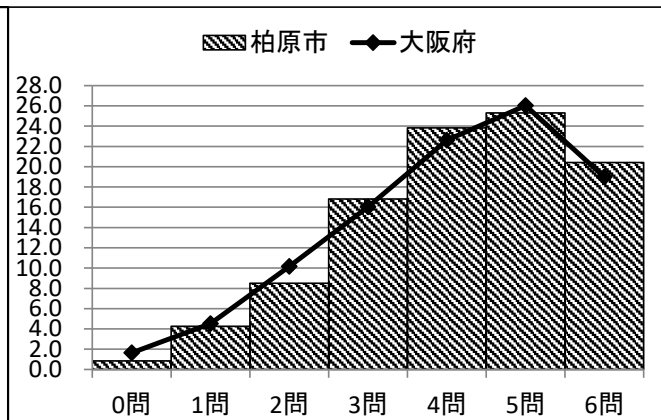
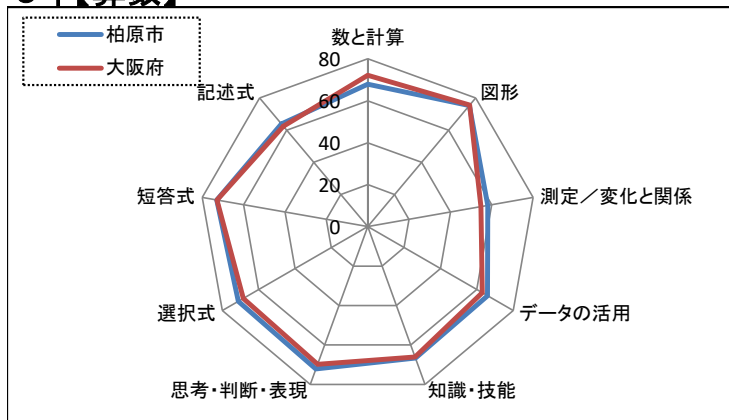
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差 (市-府)
		全体		柏原市	大阪府	0.0
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域					0.0
	「粒子」を柱とする領域					0.0
	「生命」を柱とする領域					0.0
	「地球」を柱とする領域					0.0
評価の観点	知識・技能					0.0
	思考・判断・表現					0.0
	主体的に学習に取り組む態度					—
問題形式	選択式					0.0
	短答式					0.0
	記述式					0.0

各教科【平均正答率(問題別概況)】

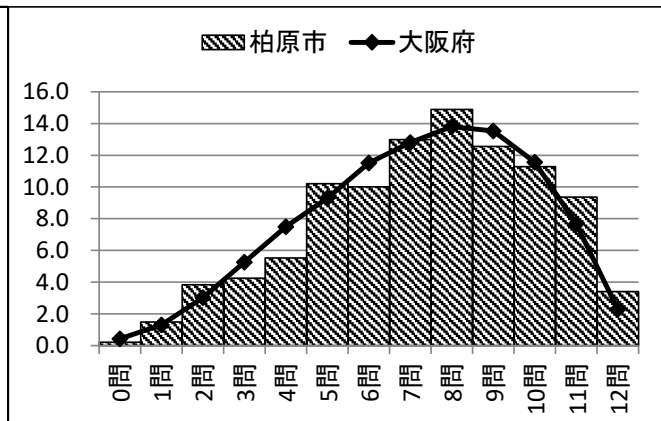
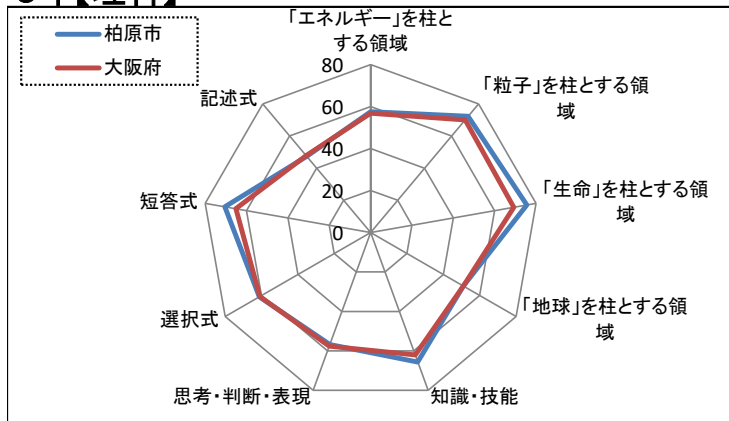
5年【国語】



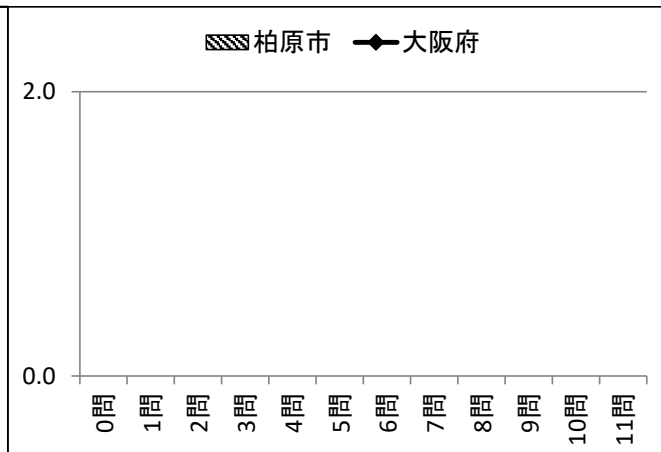
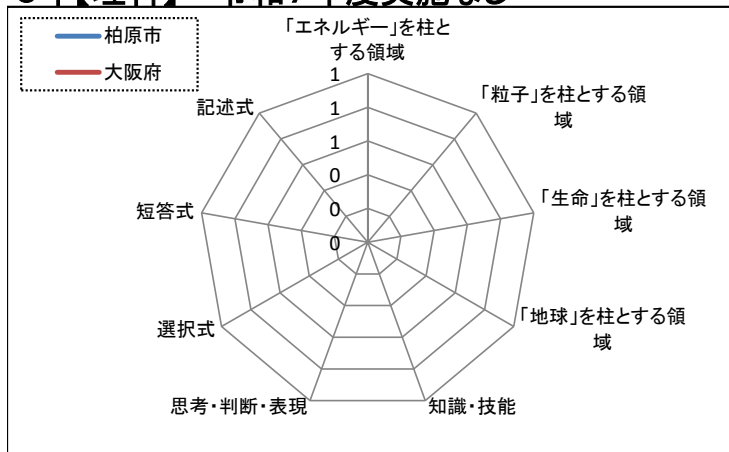
5年【算数】



5年【理科】



6年【理科】…令和7年度実施なし



○正答率が高い問題

国語(5年)

問題番号	4		
出題の趣旨	日常で使うローマ字を正しく書く。		
領域	言葉の特徴や使い方に 関する事項	評価	知識・技能 形式 短答式

	正答率(%)	準正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	38.1	42.3	4.3
大阪府	29.9	46.1	7.1

正答例 Ôita (Oita)

大分 ⇒

④

次の都道府県名を正しくローマ字で書きましょう。

○正答率が高い問題

算数(5年)

問題番号	2	(3)	
出題の趣旨	ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を図を用いて比較し、メダカが基準の数からどのくらい増えたかを、割合を用いて説明する。		
領域	測定／変化と関係	評価	思考・判断・表現 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	48.9	9.4
大阪府	43.9	12.7

② いきもの係のきみさんとそらは、クラスで毎月作っている学級新聞の7月号で記事を書くことになっています。2人はどのような記事を書くか考えています。



学校では熱帯魚とメダカを飼っているね。家でペットを飼っている人もいるよね。



友だちの中には犬やネコ、ハムスターを飼っている人がいるよ。どんなペットが人気なのかな。



いまペットを飼っていない人は、もしもペットを飼うとしたら、何を飼ってみたいのかな。

(3) 今年の3月に学校で飼っている熱帯魚とメダカのたまごがかえりました。6月になり、2人は熱帯魚とメダカの数調べてみると、去年の12月に比べてどちらもたくさん増えていることがわかりました。そこで、去年の12月と今年の6月の熱帯魚とメダカの数それぞれ下の表にまとめました。

【熱帯魚とメダカの数】

	去年12月	今年6月
熱帯魚の数(ひき)	30	60
メダカの数(ひき)	15	45



今年の6月と去年の12月の差を比べれば、熱帯魚とメダカの数どちらも30ひき増えているから、同じだけ増えていることがわかるね。

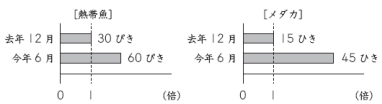


たしかに増えた数は同じだけど、去年の12月の熱帯魚とメダカの数がちがうから、増え方が同じとは言えないよね。何倍かで比べてみるといいんじゃないかな。

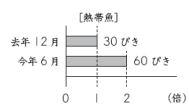


今年の6月と去年の12月とを比べて、熱帯魚とメダカ数はそれぞれ何倍になっているかな。テープ図に表して考えてみよう。

【熱帯魚とメダカの数比べたテープ図】

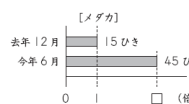


【きみさんの説明】



去年の12月の数を1とみたと、今年の6月の数は2にあたるので、今年の6月の熱帯魚の数は、去年の12月の2倍になります。

【そらさんの説明】



問1 【きみさんの説明】を参考にして、【そらさんの説明】の中の(ア)にあてはまる文章を書き、説明を完成させましょう。

正答例

去年の12月の数を1とみたと、今年の6月の数は3にあたるので、今年の6月のメダカ数は、去年の12月の3倍になります

○正答率が高い問題

理科(5年)

問題番号	2	(2)	
出題の趣旨	金属は温められると体積が増えることを理解する。		
領域	「粒子」を柱とする領域	評価	知識・技能 形式 短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	73.4	7.4
大阪府	66.9	7.4

(2) ジョージさんは同じコーナーで、火災報知器の説明を見つけた。



火災報知器は、感知器が作動すると非常ベルが鳴るようになっているんだね。どのようにして感知しているのかな。

【感知器の説明】

	熱を感知するもの	けむりを感知するもの	光を感知するもの
見えた目			
しくみ	スイッチ 金属板 熱	センサー けむり	センサー 光
説明	燃えたときに出る熱によって感知器の中の、はしで固定された金属板が曲がることを利用して、スイッチがおされて作動する。	燃えたときに出るけむりが感知器の中に入り、センサーが感知して作動する。	燃えたときに出る光をセンサーが感知して作動する。

問1 下線部の理由について説明した次の文の(ア)にあてはまる言葉を書きましょう。

金属板が熱せられ、体積が(ア)ことで曲がる。

正答例

ふえる

▼正答率が低い問題

算数(5年)

問題番号	1	(3)	
出題の趣旨	図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることのできる図形を考える。		
領域	図形	評価	思考・判断・表現
		形式	選択式

	正答率(%)	準正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	4.0	84.5	1.5
大阪府	3.6	80.8	1.9

正答例 1, 2, 4

(3) おたのしみ会の準備で、しほさんとけんたさんは、体育館の入口に置く看板の図案になりました。2人は看板のかざりつけをしています。

しほ: 形を組み合わせると、もっときれいなかざりができそうだね。

けんた: 45°、45°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせれば、2色でできた正方形のかざりになるよ。

しほ: 同じように、30°、60°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせると、いろいろな形のかざりができそうだね。

▼正答率が低い問題

理科(5年)

問題番号	2	(3)	②
出題の趣旨	並列つなぎの性質を理解し、電池が1つなくなったさいの回路について考える。		
領域	「エネルギー」を柱とする領域	評価	思考・判断・表現
		形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	55.7	2.6
大阪府	59.9	3.3

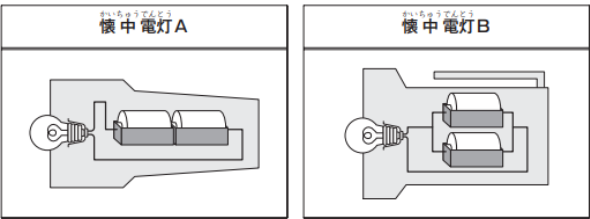
(3) 次に、あおいさんたちは「防災グッズについて学ぼう」のコーナーにきました。あおいさんは、そこで2種類の懐中電灯を見つけました。



スタッフ: 他の道具にかん電池が必要になったとき、かん電池ボックス(かん電池ホルダー)から、かん電池を1つ外しても使える懐中電灯がありますよ。

問い② スタッフが教えてくれた懐中電灯はA、Bのうち、どちらですか。

【懐中電灯のしくみの図】



※使っているかん電池と豆電球は同じものです。

正答例

B

▼正答率が低い問題

理科(5年)

問題番号	2	(4)	
出題の趣旨	水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによって違いがあるということを理解し、水たまりができなかった理由を考えて、書き表す。		
領域	「地球」を柱とする領域	評価	思考・判断・表現
		形式	記述式

	正答率(%)	準正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	29.6	4.9	9.8
大阪府	31.0	3.4	10.2

(4) 防災センターの見学が終わり、あおいさんたちはバスで学校に帰りました。途中ではげしい雨が降り出しましたが、学校に着くころには、やんでいました。

あおい: 校庭が水びたしになっているよ。でも、すな場は水たまりができていないね。どうしてだろう。

ジョージ: 校庭の土とすな場のすなでは、何かちがいがあのかな。確かめてみようよ。

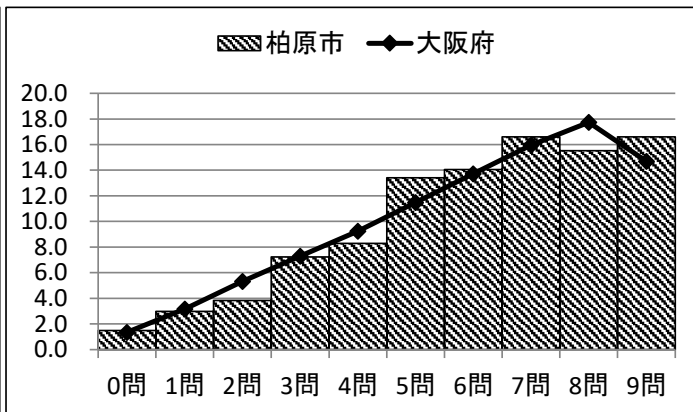
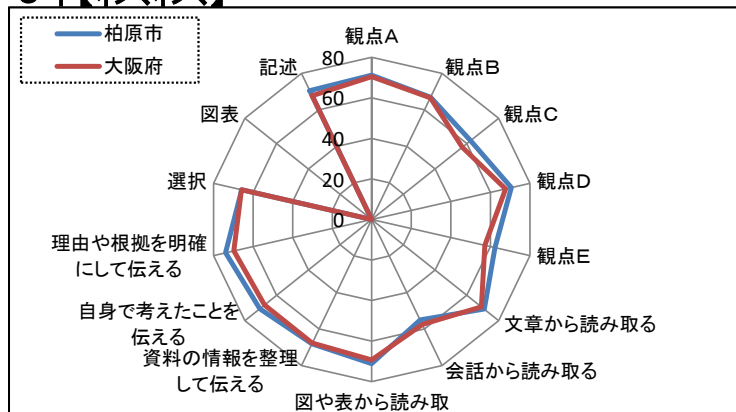
正答例 校庭の土のつぶは、すな場のすなのつぶとくらべて小さい

問い あおいさんたちの学校の校庭の土のつぶは、すな場のすなのつぶと比べてどのようなちがいがあると考えられますか。
「土のつぶ」、「すなのつぶ」という言葉を使って書きましょう。

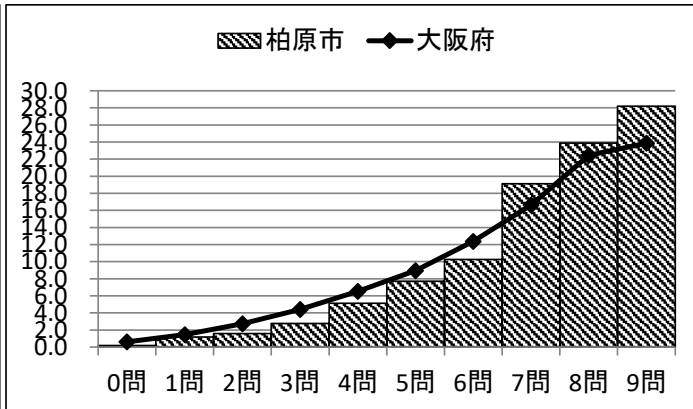
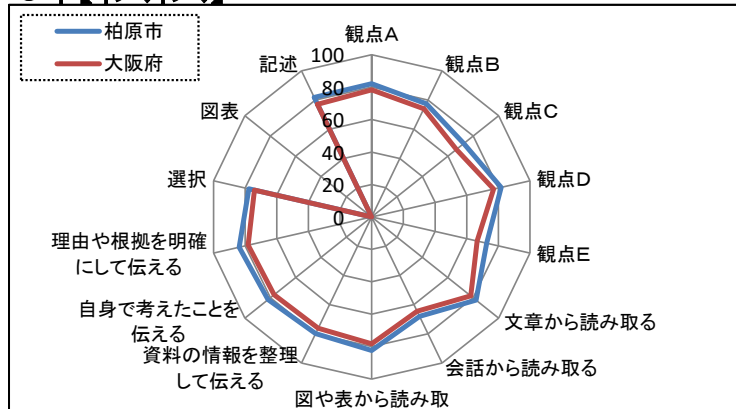
教科横断型問題(わくわく問題)【平均正答率(問題別概況)】

分類		対象 問題数 (問)	5年			6年			5・6年全体		
			平均正答率(%)		差 (市-府)	平均正答率(%)		差 (市-府)	平均正答率(%)		差 (市-府)
			柏原市	大阪府		柏原市	大阪府		柏原市	大阪府	
全体		9	67.4	66.5	0.9	79.1	75.1	4.0	73.5	70.8	2.7
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 正しくとらえる。	6	71.2	70.4	0.7	82.1	78.3	3.8	76.9	74.4	2.5
	B 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに論理的に考える。	4	66.8	66.6	0.2	77.5	74.0	3.4	72.3	70.3	2.0
	C 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに新たな課題を 考える。	1	62.3	57.1	5.2	72.6	66.7	5.9	67.7	61.9	5.8
	D 図や表、グラフ、短い文章、 会話文等の内容を関連付けて、 それをもとに自分の考えを まとめ、伝える。	3	70.6	67.7	2.9	81.8	77.0	4.8	76.4	72.3	4.1
	E 興味・関心のある事がらに ついて、意欲的に工夫して相手 に伝える。	1	62.3	57.1	5.2	72.6	66.7	5.9	67.7	61.9	5.8
問題を とらえる	文章から読み取る	7	70.9	69.1	1.9	82.2	78.1	4.1	76.8	73.6	3.2
	会話から読み取る	2	55.0	57.4	▲ 2.4	68.0	64.6	3.5	61.8	61.0	0.8
	図や表から読み取る	7	71.1	69.3	1.8	82.4	78.2	4.1	77.0	73.8	3.2
伝える	資料の情報を整理して 伝える	8	68.0	67.7	0.4	79.9	76.2	3.7	74.2	71.9	2.3
	自身で考えたことを伝 える	3	70.6	67.7	2.9	81.8	77.0	4.8	76.4	72.3	4.1
	理由や根拠を明確にし て伝える	2	73.9	69.8	4.2	83.8	78.1	5.7	79.1	73.9	5.1
問題 形式	選択	6	65.8	65.9	▲ 0.1	77.7	74.1	3.6	72.0	70.0	2.0
	図表	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	記述	3	70.6	67.7	2.9	81.8	77.0	4.8	76.4	72.3	4.1

5年【わくわく】



6年【わくわく】



○正答率が高い問題

わくわく(5年)

問題番号	3	(3)	
出題の趣旨	「ナッジ」を題材として、ナッジの有効性を理解し、身の回りで適用する方法を考えるを通して、アイデアを言葉や絵にして具体的に伝える力などを問う内容。		
観点	C・D・E	問題の とらえ方	文章から 図や表から
		伝え方	自分の考え 理由や根拠
		形式	記述

	正答率(%)		準正答率(%)		無解答率(%)	
柏原市	54.0	64.7	8.3	7.9	8.3	6.7
大阪府	47.7	59.1	9.5	7.5	10.8	7.9
	(5年)	(6年)	(5年)	(6年)	(5年)	(6年)

③ 学校が休みの日、みさきさんとあきどさんは、スーパーにお菓子を買いに行きました。

- (3) みさきさんたちは、ナッジの考え方を生かした工夫が身の回りにもないか、探してみることにしました。次の【身の回りの工夫】は、みさきさんたちが、見つけた工夫をクラスの人に紹介するためにタブレット端末を使ってまとめたものです。



わたしたちの身の回りでも、みんなが気持ちよく過ごすために、こういう工夫が生かせそうだね。
アイデアを考えて、みんなに提案してみようかな。

【身の回りの工夫】

【ねがい】 トイレをきれいに使ってほしい

【工夫】 次のようなメッセージをトイレの見やすいところにはる。

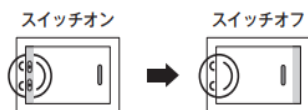


【みんなの行動が変わる理由】

「『ありがとう』という感謝のメッセージにこたえられるように、よこさずきれいに使おう」という気持ちになるから。

【ねがい】 使わないときは電気をこまめに消してほしい

【工夫】 電気を消すとニコニコの笑顔が現れるように、スイッチに顔のシールをはる。



【みんなの行動が変わる理由】

スイッチをオフにすると笑顔が見られて、楽しくなるから。

それは、いい考えだね！ ろうかを走らずに歩いてもらう工夫や、スリッパをそろえてもらう工夫など、みんなに提案できることはたくさんありそうだね。



問い 「みんなが気持ちよく過ごすため」に、あなたならナッジの考え方を生かしたどんな工夫を提案しますか。次の【条件】に合わせてかきましょう。これまでに紹介された例を参考にしてもかまいません。

【条件】 ○【ねがい】 のらんに、みんなが気持ちよく過ごすために、みんなにしてほしいことを1つ書きましょう。

○【工夫】 のらんに、【ねがい】 をかなえるために、どうするのかを言葉や絵を使ってかきましょう。

○【みんなの行動が変わる理由】 のらんに、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのかを文章で書きましょう。

正答例

【ねがい】 教室やろうかのゴミを拾って捨ててほしい。

【工夫】 ゴミ箱のふたの内側に、感謝のメッセージを書く。(工夫のアイデアを絵や図に表現する)

【みんなの行動が変わる理由】 ふたの内側のメッセージを見て、うれしくなって、またゴミ箱の中にゴミを捨てようと思うから。

▼正答率が低い問題

わくわく(5年)

問題番号	3	(1)	
出題の趣旨	近年、さまざまな社会的場面で活用されている「ナッジ」を題材として、資料や会話の内容を適切に読み取る力を問う内容。		
観点	A・B	問題の とらえ方	会話から 伝え方 資料の情報を 整理 形式 選択

	正答率(%)		無解答率(%)	
柏原市	56.6	67.3	1.7	0.8
大阪府	59.8	64.5	2.3	1.0
	(5年)	(6年)	(5年)	(6年)

③ 学校が休みの日、みさきさんとあきとさんは、スーパーにお菓子を買いに行きました。

(1) 会計のためにレジに並んでいたみさきさんは、ふと、床に矢印のマークが一定の間かくでかかれています。よく見ると、後ろに並んでいるあきとさんも、みさきさんの前で会計をしている人も、みんな矢印のマークの上に立っています。



そうだったのか！ お客さんにもお店の人にもいいことがあるんだね。

【矢印のマーク】



ねえ、気づいてる？ わたしもあきとさんも矢印のマークの上に立っているね。

ほんとだ。だれかに言われたわけではないのに、矢印のマークの上に立っていたよ。



みんなが矢印のマークの上に立つことで、何かいいことがあるのかな。お店の人に聞いてみよう。

矢印のマークがあることで、どこに並べばいいか、お客さんがわかりやすくなります。また、会計を待つ人の列が整い、スムーズに会計をすることができ、わたしたちも助かります。



問い 床に矢印のマークがあると、お店の人やお客さんにとって、どのようなよいことがありますか。会話からわかることを、下のアからエまでの中から2つ選びましょう。

- ア レジの前がこんごつしないので、お客さんが知り合いの人を自分の列の前に入れてあげられる。
- イ 会計を待つお客さんの列が自然と整うので、お店の人が呼びかけなくてすむ。
- ウ スムーズに会計をすることができるので、お客さんがたくさん品物を買ってくれる。
- エ 矢印のマークがあることで、お客さんにとって並ぶ場所がわかりやすくなる。

正答例

イ、エ

児童アンケート【回答状況一覧】

- ・ 肯定的回答の割合について比較（一部時間等による比較、※印で詳細を記載）。
 - ・ 「-」は選択肢の内容等をふまえ、比較していない質問項目。
- 「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

※同一集団

		番号	質問事項	府との比較			6年 (経年)
				全体	5年	6年	
《未来に向かう力 と好奇心》 に関する項目		1	「自分にはよいところがある」と思う				
		2	将来の夢や目標を持っている				
		3	友だちと協力するのは楽しい				
目標に向 かって頑 張る力	粘り強さ	4	頑張りやである			○	
		5	難しいことがあっても、あきらめない			○	
		6	何事にも一生けんめい努力する			○	
	ぶれない 心 ※反転処理	7	終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい				▽
		8	新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる				▽
		9	物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう				
人と関わ る力	共感する 力	10	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる				
		11	人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる				
		12	まわりに困っている人がいると、早く解決するといいいなあと思う				
	相手の理 解	13	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかろうとする				
		14	人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する				
		15	人の話を聞くときは、その人が言いたいことは何かを考えながら聞く				
気持ちを コントロールする力	切り替え	16	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している				
		17	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる			○	
		18	イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする	○		○	
	落ち着き ※反転処理	19	自分の気持ちを態度や表情に出す	-	-	-	-
		20	つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す	-	-	-	-
		21	自分によいことがあったとき、その気持ちを態度に出さない	-	-	-	-
好奇心	色々なこ とへの興 味や関心	22	新しいことに挑戦することは好きだ				▽
		23	誰もやったことのない物事にとても興味がある				
		24	どこに行っても、新しい物事や経験を探す		○		
	自分の疑 問に対す る答えを 求める力	25	はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える				
		26	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる				
		27	ある考えを理解するために、必要な知識をすべて学ばないと満足できない		○		
		28	先生は、あなたのよいところを認めてくれている				
		29	先生は、あなたが間違ったことをしたとき叱ってくれる				
		30	あなたには、困ったときに相談できる先生がいる				▽
		31	あなたには、困ったときに相談できる友だちがいる				
32	あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える						
33	あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない			○	▽		
34	あなたの学級は、協力的である	○		○			
35	あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う						
36	あなたの学級は、日直や係の仕事を頑張っている			○			
37	あなたの学級は、日直や係の仕事を自分たちで考えて取り組んでいる			○			
38	学級会の話し合いでは、少数意見も大切にしている	○		○			
39	学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている				○		
40	その時間のめあてを意識して学習している						
41	その時間に学んだことについて、ふり返りをしている						
42	わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている		▽		▽		
43	文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる						
44	黒板に書かれたことをノート等に写している						
45	自分の考えをノート等にも書いている			▽	▽		
46	先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている						
47	自分の考えを積極的に発言している				▽		
48	話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている						
49	話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている						
50	話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている						
51	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている						
52	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▽	▽	▽	▽		
53	授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▼	▼	▼			

児童アンケート【回答状況一覧】

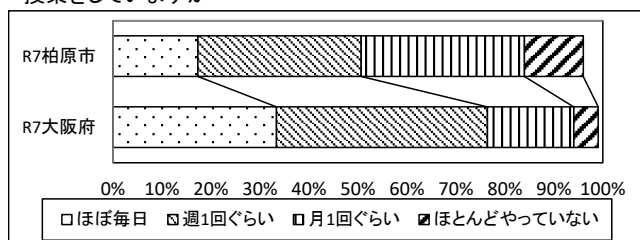
- ・ 肯定的回答の割合について比較（一部時間等による比較、※印で詳細を記載）。
 - ・ 「-」は選択肢の内容等をふまえ、比較していない質問項目。
- 「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

※同一集団

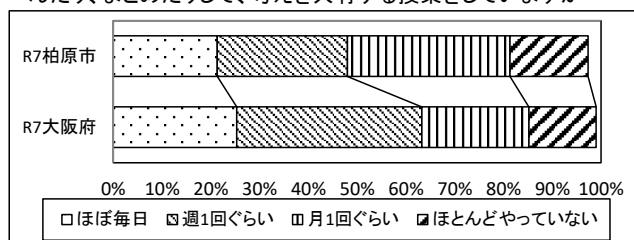
番号	質問事項	府との比較			6年 (経年)
		全体	5年	6年	
54	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか ※週1回以上・月1回未満	▼	▼	▽	
55	授業で、コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表することはどれくらいありますか				▽
56	自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強をしている(宿題は除く)				▽
57	前にやっとうまくいったやり方を試している				
58	自分は何が得意で何が苦手かをわかっている				
59	課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている				
60	読んでいてわからなくなったときは、もう一度読み直してみる				○
61	朝食を毎日食べている				
62	家の人と、その日の出来事について話をしている				
63	家の人に褒められることがある				
64	家の人と一緒に、遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりすることがある				
66	家の中にホッとする場所がある				
67	家の中に決まった勉強場所がある	○			
68	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) ※1時間以上			▽	
69	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか				
70	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか				▽
71	ふだん(月曜日から金曜日)どれくらいの時刻に寝ていますか	-	-	-	-
72	あなたは「家庭の仕事」をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください	-	-	-	-
73	「家庭の仕事」をすることはどれくらいありますか	-	-	-	-
74	学校がある日に、「家庭の仕事」は1日のうちどれくらいしていますか。日によって変わるときは、この1か月で1番長かった日の時間で答えてください	-	-	-	-
75	「家庭の仕事」をしていることによって、あなたに起こっていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください	-	-	-	-

(参考)「ICT活用」に関する教員アンケート 回答状況

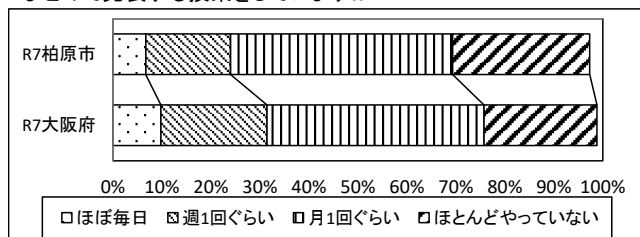
(45)コンピュータやタブレットを使って、児童が必要な情報を調べる授業をしていますか



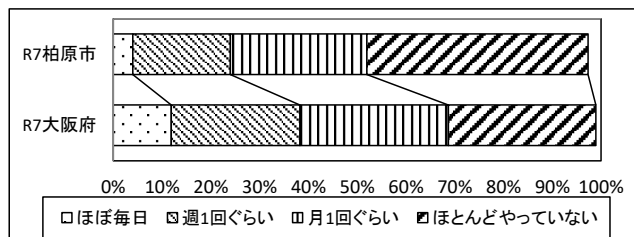
(46)コンピュータやタブレットを使って、児童が自分の考えを書きこんだり、まとめたりして、考えを共有する授業をしていますか



(47)コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表する授業をしていますか



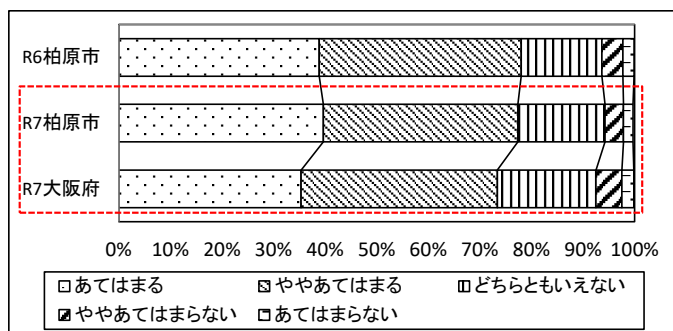
(48)コンピュータやタブレットを使って、児童が考えを共有したり発表したりした後に感想やアドバイス等をコンピュータやタブレットで伝え合う活動をしていますか



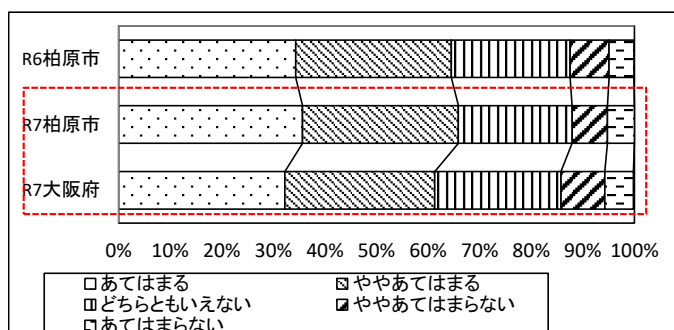
児童アンケート【強みと課題】(5・6年全体)

○強みのみられる項目(府との比較)

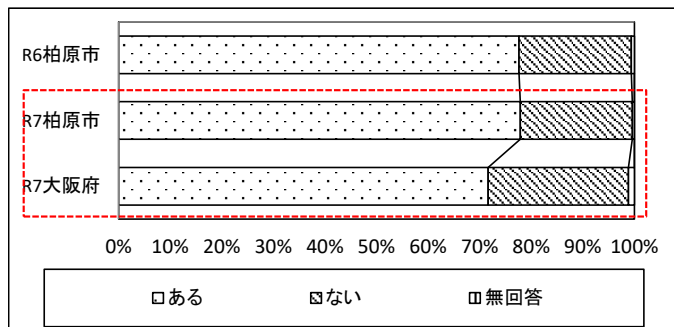
(6) 何事にも一生けんめい努力する



(24) どこに行っても、新しい物事や経験を探す

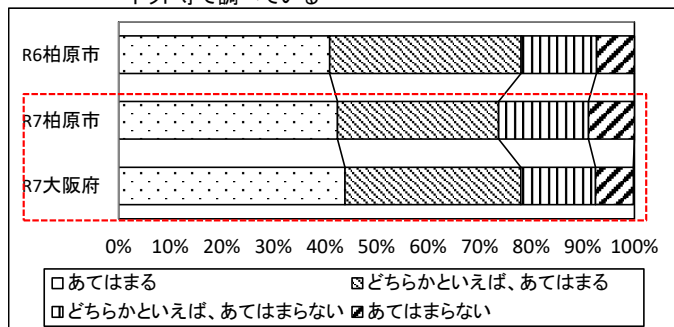


(67) 家の中に決まった勉強場所がある

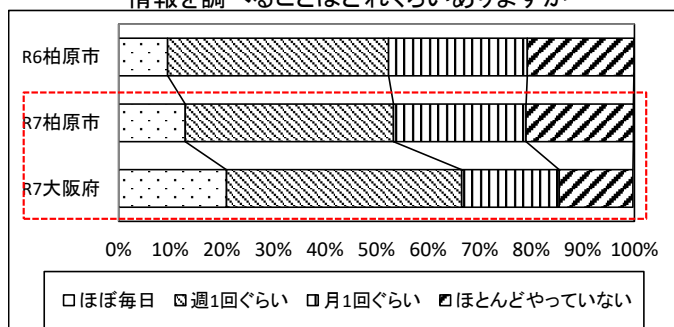


▼課題のみられる項目(府との比較)

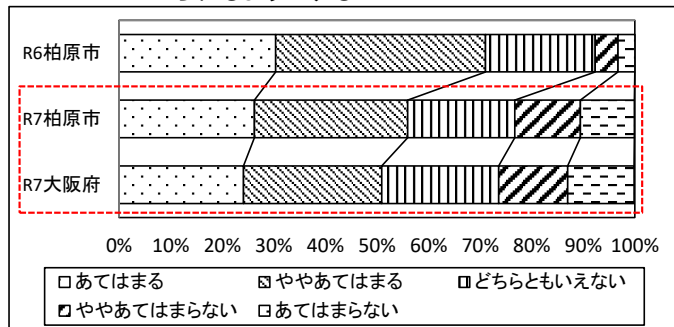
(42) わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている



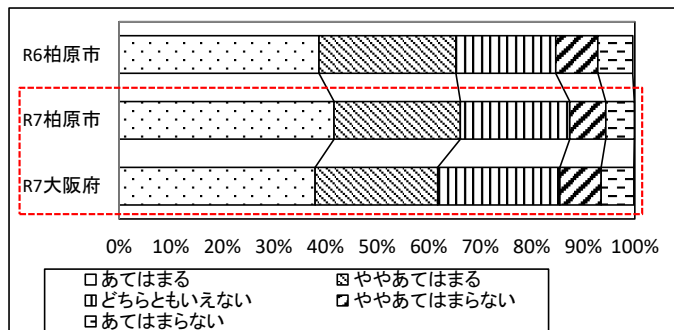
(53) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか



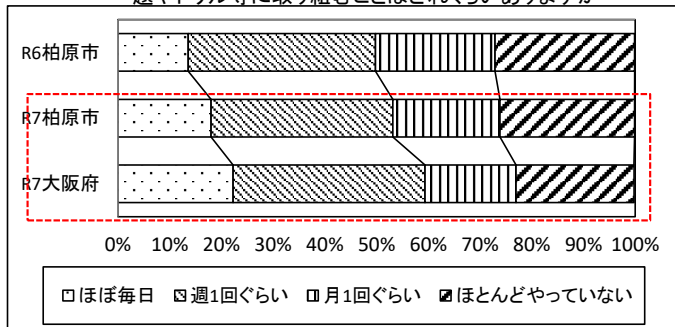
(18) イライラを感じるときは、考え方を考えて落ち着いていられるようにする



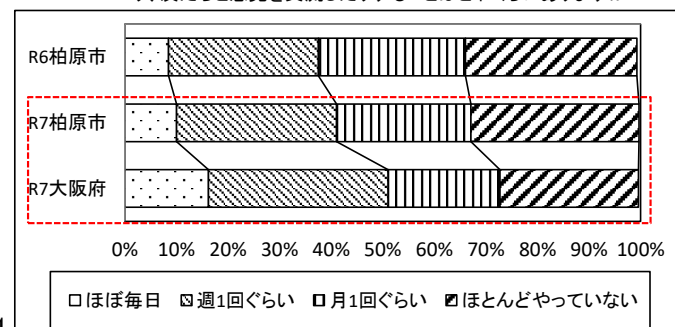
(33) あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない



(52) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか



(54) 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

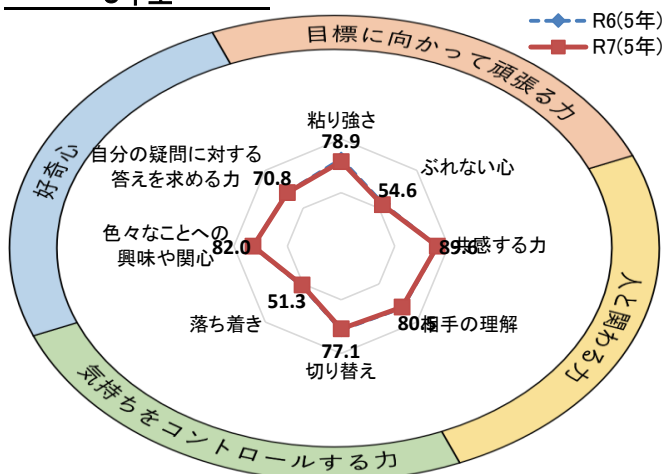


児童アンケート【未来に向かう力と好奇心】

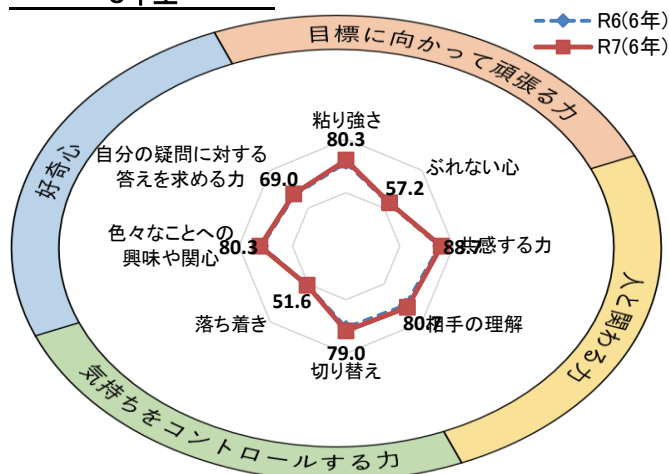
未来に向かう力と好奇心	チャート上の項目名	番号	質問項目
目標に向かって頑張る力	粘り強さ	4	頑張りやである
		5	難しいことがあっても、あきらめない
		6	何事にも一生けんめい努力する
	ぶれない心	7	終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい
		8	新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる
		9	物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう
人と関わる力	共感する力	10	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる
		11	人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる
		12	まわりに困っている人がいると、早く解決するといいなあと思う
	相手の理解	13	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわからうとする
		14	人に対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する
		15	人の話を聞くときは、その人が言いたいことは何かを考えながら聞く
気持ちをコントロールする力	切り替え	16	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している
		17	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる
		18	イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする
	落ち着き	19	自分の気持ちを態度や表情に出す
		20	つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す
		21	自分によいことがあったとき、その気持ちを態度に出さない
好奇心	色々なことへの興味や関心	22	新しいことに挑戦することは好きだ
		23	誰もやったことのない物事にとても興味がある
		24	どこに行っても、新しい物事や経験を探す
	自分の疑問に対する答えを求める力	25	はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える
		26	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる
		27	ある考えを理解するために、必要な知識をすべて学ばないと満足できない

※ポイント: 児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値(ポイント=平均÷合計×100)。

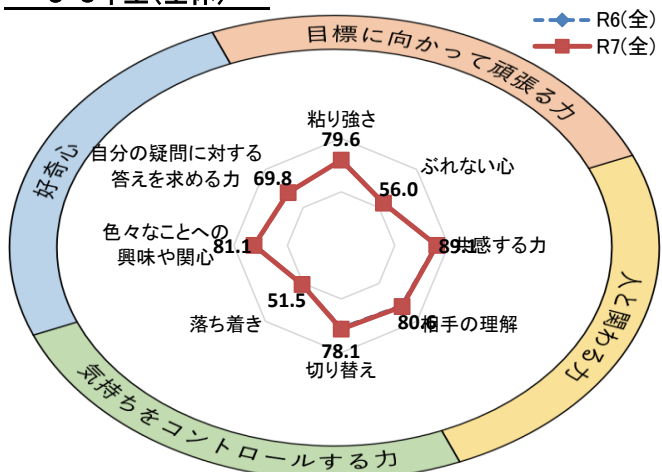
5年生



6年生



5・6年生(全体)



6年生(経年)

